

国連 WFP 世界食料デー^{※1} キャンペーン 2020

「ゼロハンガーチャレンジ～食品ロス×飢餓ゼロ～」に協賛

森永乳業は、サステナブル(持続可能)な社会の実現に向けて、人々の健康・栄養や環境の観点から様々な取り組みを行っています。

このたび国連 WFP 協会が主催する世界食料デーキャンペーン 2020「ゼロハンガーチャレンジ～食品ロス×飢餓ゼロ～」に賛同し、協賛いたします。本キャンペーンは世界中すべての人が食べられる世界「ゼロハンガー」を目指し、食品ロス削減を進めることで、飢餓に苦しむ子どもたちの給食支援につなげる取り組みです。

森永乳業では、当社独自のロングライフ製法による長期保存可能な商品の開発を通じて、食品ロス削減に取り組んでいます。牛乳、清涼飲料水、デザート、流動食、豆腐など当社グループの様々な商品に応用しており、ご家庭内の食品廃棄率を下げるほか災害時の備蓄にも使える便利な商品として活躍しています。

世界では、6 億 9000 万人の人が飢えに苦しんでいる一方、生産された食料のうち 3 分の 1 の 13 億トンあまりが廃棄されています。日本でも、年間約 612 万トン^{※2} もの食べられる食品が廃棄されています。これは、国連 WFP が 2019 年に支援した食料支援量約 420 万トンの、1.5 倍に相当します。

全世界で生産されている食料は毎年およそ 40 億トンと、全人口を賄うのに十分な量です。しかし先進国では余り物が捨てられ、開発途上国では貧困や気候変動、紛争などの影響で、食料が足りなくなる「食の不均衡」が起きています。

<https://www.jawfp.org/worldfoodday2020/>

本キャンペーンではすべての人が食べられる世界「ゼロハンガー」を目指し、皆さんの「食品ロス」削減の取り組みを、飢餓に苦しむ子どもたちの学校給食支援につなげます。



【キャンペーン概要】

実施期間:2020 年 9 月 1 日～10 月 31 日

内 容:一般の方を対象に、食品ロス削減のアイデアや取り組みなどをハッシュタグ「#食品ロスゼロアクション」「#ゼロハンガー2020」「#国連 WFP」をつけて SNS 投稿すると 1 投稿につき 120 円(4 人分)が寄付協力企業から寄付され、国連 WFP の学校給食支援に役立ちます。

^{※1}国連が制定した世界の食料問題を考える日。(10月16日)。世界の飢餓・貧困問題・栄養不良についての関心と理解を深め、解決していくことを目的とする。

^{※2}農林水産省及び環境省「平成 29 年度推計」

かがやく“笑顔”のために

森永乳業株式会社

〒108-8384 東京都港区芝 5-33-1



<参考>ロングライフ製法とは、食品の殺菌と容器の殺菌を別々に行い、保存料や防腐剤を使用せず、「おいしさ」と「長持ち」を両立させることができる技術です。賞味いただける期間が1ヵ月以上あるため、計画的な使用を考えることができ、廃棄率が下がることが期待されます。また、災害時の備蓄にも適しています。

【ロングライフ製法を用いた商品の例】



森永牛乳



マウントレーニア カフェラッテ



クリミール CZ-Hi

かがやく“笑顔”のために

森永乳業株式会社

〒108-8384 東京都港区芝5-33-1